

天津市 中医薬による COVID-19 予防と治療方案

(試行第 6 版)

中国 天津市衛生健康委員会

2022 年 1 月 24 日

新型コロナウイルスオミクロン株に対応し、COVID-19 防疫の中で中医薬の作用を存分に發揮するため、中西医結合¹、中薬と西洋薬を併用し、天津市の地域的特徴や現在の気候を考慮して、国家と天津市の中医薬による COVID-19 予防・治療専門家チーム構成員が共同で研究し、『新型コロナウイルス肺炎診療ガイドライン（試行第 8 版修訂版）』を踏まえ、オミクロン株による COVID-19 についての中医の証候の特徴と、中医薬の COVID-19 治療における科学的根拠にもとづく医学研究のエビデンスに立脚して、『天津市 中医薬による COVID-19 予防と治療方案（試行第 5 版）』の基礎の上に、天津市での中西医結合での COVID-19 の予防と治療の経験を総括して本方案を制定した。臨床で参考の上活用されたい。

一. 濃厚接触者の予防方案

1. 成人方

『清感飲』シリーズ製剤²：春飲、夏飲、秋飲、冬飲。

服用方法

毎回 1～2 袋に 200ml の熱湯を注ぎ 10 分間おく。暖かいものを少しずつ口に含み飲みこむ。ティーバッグは繰り返し数回淹れて服用できる。適用は 14 歳以上、または医師の指導にしたがう。

2. 小児方

清感童飲³

服用方法

脚注はすべて訳者注

¹中西医結合：中医学と西洋医学を統合すること。

²『清感飲』シリーズ製剤：COVID-19の予防、治療のため、張伯礼（Zhang Boli）天津中医薬大学名誉校長が長年の実践と武漢での治療経験にもとづき開発したティーバッグ式の中薬。天津市では2020年11月から医療保険適用。

参考：任明, 付赬, 周胜元, 孙晓. “清感饮”系列制剂临床应用专家共识（『清感飲』シリーズ製剤の臨床的応用についての専門家コンセンサス）[J]. 天津中医薬, 2020, 37(11): 1201-1204. DOI : 10.11656/j.issn.1672-1519.2020.11.01

春飲：炒牛蒡子、射干、連翹、桔梗、赤芍、茉莉花茶等。春季に服用。

夏飲：広藿香、薄荷、炒牛蒡子、射干、桔梗、緑茶等。夏季に服用。

秋飲：北沙参、桑葉、炒牛蒡子、射干、桔梗、菊花等。秋季に服用。

冬飲：黄耆、虎杖、炒牛蒡子、射干、桔梗、紅茶等。冬季に服用。

³童飲：炒牛蒡子、炒薏苡仁、連翹、桔梗、赤芍、菊花等。四季を通じて服用。

毎回1袋に100mlの熱湯を注ぎ10分間おく。暖かいものを少しずつ口に含み飲みこむ。ティーバッグは繰り返し数回淹れて服用できる。

二. 無症状感染者の治療方案

(一) 煎じ薬

1. 成人方

『清感飲』シリーズ製剤：春飲、夏飲、秋飲、冬飲

服用方法

毎回2～3袋に300mlの熱湯を注ぎ10分間おく。温かいものを少しずつ口に含み飲みこむ。ティーバッグは繰り返し数回淹れて服用できる。適用は14歳以上、または医師の指導にしたがう。

2. 小児方

清感童飲

服用方法

毎回2袋に150mlの熱湯を注ぎ10分間おく。温かいものを少しずつ口に含み飲みこむ。ティーバッグは繰り返し数回淹れて服用できる。

(二) 中薬製剤

1. 宣肺敗毒顆粒⁴

適用対象

普段から湿熱傾向が明らかで腹部膨満感があり、便が粘り残便感があつて、身体が重く、舌苔が比較的膩である者。

服用方法

1回1袋(10g)を1日2回、温かいお湯で服用する。

⁴ 宣肺敗毒顆粒：『新型コロナウイルス肺炎診療ガイドライン』（試行第6版以降、脚注9参照）で中等症の湿毒鬱肺証の推薦処方として記載されている宣肺敗毒方（構成生薬は本稿3ページに記載）をもとに作られた顆粒製剤。武漢でのCOVID-19流行時に4つの方剤（麻杏石甘湯、麻杏薏甘湯、千金葦茎湯、葶藶大棗瀉肺湯）の基礎の上に処方され、重症化を防ぐ効果があつた。報道によると、薬物のうち虎杖にはSARS-CoV-2を抑制する作用、馬鞭草にはCOVID-19による肺の損傷や微細な血栓に対する強い活性が認められた。

（参考：『張伯礼：宣肺敗毒顆粒是“中药+科技”的产物（宣肺敗毒顆粒は“中薬+科学技術”の産物）』中国日報2020.3.15 <https://cn.chinadaily.com.cn/a/202003/15/WS5e6ddca7a3107bb6b57a6998.html>

2. 連花清瘟カプセル（顆粒）⁵と防風通聖丸⁶の併用

適用対象

普段から胃に熱がこもり、便が乾燥ぎみ、または便秘の者。

服用方法

連花清瘟カプセル（顆粒）：1回4カプセル（顆粒剤は1袋）を1日3回、温かいお湯で服用する。

防風通聖丸：1回1袋（10g）を1日3回、温かいお湯で服用する。

便通がよい場合は防風通聖丸を中止してよい。

3. 金花清感顆粒⁷と藿香正気ソフトカプセル（丸剤、内服液、水剤）⁸の併用

適用対象

普段から胃腸が不調で、胃が張って消化不良の者。

服用方法

金花清感顆粒：1回1袋（6g）を1日2回、温かいお湯で服用する。

藿香正気ソフトカプセル（丸剤、内服液、水剤）：1日3回、温かいお湯で服用する。

※副作用を防止するため、医師は患者の体質にもとづいていずれかの治療方案を選択する。

三. 確定症例の治療方案

（一）宣肺敗毒方

適用対象

軽症、中等症⁹の患者に投与する。重症⁹患者の治療では、患者の実際の状況に応じ組み合わせて使用することができる。

推奨処方

生麻黄 6g、苦杏仁 15g、生石膏 30g、生薏苡仁 30g、茅蒼朮 10g、広藿香 15g、青蒿草 12g、虎杖 20g、馬鞭草 30g、乾芦根 30g、葶藶子 15g、化橘紅 15g、生甘草 10g。

推奨中薬製剤

⁵連花清瘟カプセル（顆粒）：連翹、金銀花、炙麻黄、炒苦杏仁、石膏、板藍根、綿馬貫衆、魚腥草、広藿香、大黄、紅景天、薄荷腦、甘草。SARS に対応するために開発され、鳥インフルエンザ対応の国家備蓄薬にもなっている。

⁶防風通聖丸：防風、荊芥、薄荷、麻黄、大黄、芒硝、梔子、滑石、桔梗、石膏、川芎、当帰、白芍、黄芩、連翹、甘草、炒白朮。SARS 流行時には予防のため服用された。

⁷金花清感顆粒：金銀花、石膏、蜜麻黄、炒苦杏仁、黄芩、連翹、浙貝母、知母、牛蒡子、青蒿、薄荷、甘草。2009年 H1N1 インフルエンザに対応するため開発された。

⁸藿香正気製剤：蒼朮、陳皮、姜厚朴、白芷、茯苓、大腹皮、生半夏、甘草浸膏、広藿香油、紫蘇葉油。

⁹中国のCOVID-19中等症（原文：普通型）は日本の中等症Ⅰ、重症（同：重型）は日本の中等症Ⅱ、重篤（同：危重型）は日本の重症にほぼ相当する。詳しい定義は『新型コロナウイルス肺炎診療ガイドライン（試行第8版修訂版）』
https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/clinical_protocols_v8_haien.pdf 参照。

宣肺敗毒顆粒：1回1袋（10g）を1日2回、温かいお湯で服用する。

（二）軽症および中等症

1. 湿邪困表

臨床症状と所見

発熱、咳嗽、痰が少ないか乾性咳嗽、あるいは悪寒、または鼻閉、鼻汁、もしくは喉の乾燥、咽頭痛、食欲不振、便が緩い。舌は赤、舌苔は薄膩か薄黄膩、脈は滑または濡数。

治則治法：芳香化湿、解表祛邪。

推奨処方

藿香 9g、荷葉 10g、半夏 12g、陳皮 12g、厚朴 10g、茯苓 15g、蒼朮 12g、虎杖 10g、辛夷 12g、蒼耳子 10g、桔梗 12g、前胡 10g、神曲 10g。

臨床加減

- ・喉の搔痒、疼痛がある者には銀花、連翹、射干を加える。
- ・口や喉が乾燥する者には麦冬、天冬、桔梗を加える。
- ・痰が黄色く粘る者には黄芩、魚腥草を加える。

2. 瘟熱犯衛

臨床症状と所見

喉の乾燥、咽頭痛、鼻閉、鼻汁、痰が少ない軽度の咳嗽、微熱またはまだ発熱していない、あるいは頭痛、食欲や睡眠は正常、便は乾燥または正常。舌は赤、舌苔は薄または薄膩、脈は浮数。

治則治法：疏風解表、清熱解毒。

推奨処方

銀花 20g、連翹 15g、青蒿 15g、薄荷 8g（後下）、荊芥 10g、射干 10g、玄参 10g、桑叶 15g、桔梗 10g、杏仁 10g、前胡 12g、芦根 30g。

臨床加減

- ・舌苔が厚膩である者には藿香、佩蘭を加える。
- ・咳嗽がひどい者には炙枇杷葉を加える¹⁰。
- ・下痢の者には黄連、木香を加える。
- ・咽頭痛がひどい者には錦灯笼、牛蒡子を加える。

風寒束表

¹⁰ 原文は「咳嗽重加杏仁、炙枇杷葉」。

臨床上風寒束表証が見られることがある。症状は鼻がつまり、咳は軽く鼻汁は少ない。舌はピンク色、舌苔は薄白、脈は浮緊。処方**荊防敗毒散**¹¹を基礎に加減する。ただしこの段階は短く、化熱しやすい。化熱を見分ける要点は咽頭発赤と咽頭痛である。

3. 熱毒襲肺

臨床症状と所見

高熱、咳嗽、痰は粘り切れが悪い、喉が渴き水を飲みたがる、咽頭痛、目が赤い。舌は赤、舌苔は黄または膩、脈は滑数。

治則治法：清熱解毒、宣肺止咳。

推奨処方

炙麻黄 6g、杏仁 10g、生石膏 30g、牛蒡子 10g、前胡 10g、蝉衣 6g、僵蚕 10g、青蒿 15g、大黄 6g（後下）、知母 10g、柴胡 15g、法半夏 10g、黄芩 15g、夏枯草 15g、虎杖 20g。

臨床加減

- ・便秘、腹部膨満感のある者は瓜蒌、厚朴を加える。
- ・高熱が続く者には丹皮、羚羊角粉を加える。

4. 湿蘊脾胃

臨床症状と所見

微熱または平熱、痰が少ない咳嗽あるいは乾性咳嗽、胃膨満感、胃もたれ、下痢、または胸苦しい、もしくは息が切れて話がしづらい。舌は暗赤色、舌苔は白膩か黄膩、脈は濡。

治則治法：化湿祛濁、宣暢三焦。

推奨処方

白薏仁 10g、薏苡仁 15g、杏仁 12g、半夏 12g、陳皮 12g、厚朴 10g、茯苓 15g、車前草 15g、蒼朮 15g、虎杖 10g、神曲 10g。

臨床加減

- ・咳嗽がひどい者は前胡、桔梗、紫菀を加える。
- ・湿邪重濁の場合は檳榔、草果を加える。
- ・熱象が重い者には石膏、知母を適宜加える。
- ・胸苦しい場合は、瓜蒌皮、蘇梗を加える。
- ・舌苔が黄膩の者には黄連を加える。

¹¹荊防敗毒散（『撰生衆妙方』）：羌活、独活、柴胡、前胡、枳殼、茯苓、荊芥、防風、桔梗、川芎、甘草。

中国中医科学院广安門医院呼吸科李光照主任の2020.2.5付ミニブログ『半副药退“冠状病毒”之热（1/2剂でコロナウイルスの熱が引いた）』に記載。https://weibo.com/ttarticle/p/show?id=2309404468553200828565#_loginLayer_1644907348830 荊防顆粒として製剤化されており、COVID-19 予防や治療にも使われている。

(三) 重症および重篤⁹

1. 瘟熱壅肺

臨床症状と所見

熱が引かない、咳嗽、呼吸が速い、動くとき息が切れる、胸苦しく動悸がする、口や舌が乾燥、煩悶、激しい口渇、意識混濁、便は乾燥。舌は赤、舌苔は黄膩か黄燥、脈は滑数。

治則治法：清熱解毒、瀉肺平喘。

推奨処方

魚腥草 20g、生麻黄 6g、杏仁 12g、生石膏 30g、浙貝 15g、葶藶子 10g（包煎）、桔梗 20g、厚朴 12g、鬱金 20g、黄芩 15g、馬鞭草 15g、生牡蛎 20g。

臨床加減

- ・痰湿が重い者には蘇子、萊菔子を加える。
- ・高熱の者には石膏、梔子を加える。
- ・便が乾燥している者には生地、便秘の者では生大黄（少量後下）を加える。
- ・陰が損なわれている者では麦冬を加える¹²。

2. 内閉外脱

臨床症状と所見

呼吸困難、動くとき息があがる、または換気療法が必要、意識混濁、せん妄、興奮、汗が出て四肢が冷える。舌は紫暗、舌苔は厚膩または燥、脈は浮大で無根。

治則治法：益气温陽、回陽固脱。

推奨処方

人參 15g、附子 15g（先煎）、山茱萸 15g を煎じた湯液で蘇合香丸¹³または安宮牛黄丸¹⁴を服用する。

- ・換気療法中に腹部膨満、便秘または排便困難が出現した者には生大黄 10g、厚朴 15g を用いることができる。
- ・患者一人工呼吸器非同調が発生し、鎮静薬と筋弛緩薬を使用している場合は、生大黄 5～10g と芒硝 5～10g を用いることができる。

推奨中薬製剤

¹²原文ではここに「大便不干瓜蒌改瓜蒌皮」の記載がある。

¹³蘇合香丸：蘇合香、安息香、冰片、水牛角濃縮粉、麝香、檀香、沉香、丁香、香附、木香、乳香、藿苳、白朮、訶子肉、朱砂。

¹⁴安宮牛黄丸：牛黄、水牛角濃縮粉、人工麝香、珍珠、朱砂、雄黄、黄連、黄芩、梔子、鬱金、冰片。

- ・炎症メディエーターが高値の場合は血必浄注射液¹⁵を使用する。
- ・酸素化レベルが低い場合は、生脈注射液¹⁶、参麦注射液¹⁷、または独参湯を使用する。

※中薬の注射薬は、中薬の煎じ薬と一緒に使用できる。

(四) 重症・重篤化のリスクが高いグループと早期発見の指標

COVID-19 確定患者の重症化を阻止する中西医結合治療の過程では、重症化傾向のある患者の一般的資料、臨床症状や所見、検査結果をていねいに観察し、重症化に関連する前駆症状や徴候にもとづいて的確な措置を取り、症状の出現前に予防的治療を開始して病気の勢いを断ち切ることが重要である。

1. 重症化傾向のある患者のピックアップを重視し、高齢患者や、慢性基礎疾患、免疫不全、肥満がある患者、妊娠後期または周産期の女性、ヘビースモーカー、新型コロナワクチン未接種者などを重点的に観察する。
2. 最近高熱、体を動かすと悪化する息切れ、痰が切れにくい、排便困難などの症状がある患者や、舌が薄い色から赤になる、舌苔が白から黄、厚、膩になる、脈象が浮数で力がある、または滑実などの徴候がある患者はていねいに観察する。
3. 意識レベルの進行的低下、手足の先が湿って冷たい、皮膚が湿る、汗が止まらない、腹部の冷感、あるいは腹痛、便が緩いなどの症状や徴候がある患者は重点的に観察する。
4. **臨床検査所見**：低酸素血症の進行、酸素化指標の進行的な悪化、乳酸濃度の進行性上昇。末梢血リンパ球の進行的減少、炎症マーカーの進行的上昇。胸部画像所見で肺の病変の著明な進行など。

¹⁵血必浄 (Xuebijing) 注射液：紅花、赤芍、川芎、丹参、当帰。2003 年 SARS に対応して開発された。

参照：Qinhai M, Minshan Qiu, Hongxia Zhou, et al. The study on the treatment of Xuebijing injection (XBJ) in adults with severe or critical Corona Virus Disease 2019 and the inhibitory effect of XBJ against SARS-CoV-2 [J]. Pharmacological Research, 2020.160, <https://doi.org/10.1016/j.phrs.2020.105073>.

¹⁶生脈 (Shengmai) 注射液：紅参、麦冬、五味子。

¹⁷参麦 (Shenmai) 注射液：紅参、麦冬。

中国 天津市衛生健康委員会 2022 年 1 月 24 日発行

市衛生健康委关于印发天津市新冠肺炎中医药防治方案（试行第六版）的通知
『天津市 中医薬による COVID-19 予防と治療方案（試行第 6 版）発行について』

津衛中〔2022〕51 号

http://wsjk.tj.gov.cn/ZWVGK3158/ZCFG6243_1/GZWJ625/202201/t20220124_5788132.html

日本語訳 吉川淳子（南京中医薬大学）